

宣教の歴史

King's College Global

I. 最初の300年間、ローマでの宣教の歴史の概要

• 使徒の働き後の宣教師役

A. お互い帝国での宣教：迫害の下で帝国の内部に教会が広がる

B. ローマ帝国の南部：北アフリカ砂漠の修道士運動

C. ローマ帝国 東への拡散

1. シリアのキリスト教

2. インドのキリスト教：トマスの宣教

3. ペルシャキリスト教

4. アラビアのキリスト教

I. 最初の300年間、ローマでの宣教

A. お互い帝国内部での宣教は

ローマ東部での宣教とは非常に異なっていました。

1. お互い帝国の内部では、キリスト教が国教として認定されるまでつまりAD 330年まで大きな迫害の下にありました。聖徒たちは迫害被害福音とともに周りに広がりました。
2. ローマ帝国外では宣教が制約なしに行われました。
3. ローマによるキリスト教の公認の後、この状況は反転しました。

I. 最初の300年間、ローマでの宣教

B. ローマ帝国の南部：北アフリカ

1. 誰が最初に北アフリカに福音を宣べ伝えたのかわかりません。
2. 問題。
 - a. この時は、**教会が非キリスト教世界でのキリスト教信仰の問題を真剣に扱いはじめた最初の期間。**
 - b. **聖書翻訳の問題：ギリシャ語を使用しない人々** 教会の最初の出会い。
 - c. エジプトと北アフリカは、**非都市地域での最初の宣教の突破**を示しています。
 - d. **隠れキリスト教たちと修道士たちの荒野の修道士の伝統が出現する。**

C. キリスト教のローマ帝国 東への拡散

1. キリスト教の東への拡散

福音の東への拡散を調査するための最良の方法は、教会の出現の歴史的証拠を見ることです。

a. シリアのキリスト教

- 1) **シルクロード**：中国からシリアにつながる絹の貿易として存在
- 2) **エデサ**：シリアから中国へ続く道路と、中国からシリアに向かう絹の貿易道路の出会い地域。

*教会の伝承によると、**アグバル王**がイエス様をエデサに来るように手紙を書いたという。イエスが答えるために彼の昇天の後に彼に従う人々の一人を送ると答えました。

*考古学的発掘でエデサで初期の賛美歌が発見され（1世紀後半/2世紀初頭）。この賛美歌は深い神学を示しています。

C. キリスト教のローマ帝国東への拡散

b. インドのキリスト教

- 1) 技術の発展は、船がモンスーン期間にインドに到着することを可能にする
- 2) 伝統的に信じているのは使徒**トマス**です。AD 52年の福音を持って、Gundaphar王が与えた財政を使用し、福音を宣べ伝えました。
- 3) AD 200年頃に成長したキリスト教コミュニティの証拠があります。



C.キリスト教のローマ帝国東への拡散

・トマスのインド宣教

トマスがインドに到着したのは、52～53年ごろと推定される。インド西南部のケララのムジリ（Muziri）が初の起着地だ。そこでトマスは福音を伝え、洗礼を施した。その後、東南部マドラスに移動した。トマスの影響力が次第に広がると、彼に向けた上流層とヒンズー教司祭たちの嫉妬と憎しみが劇に達した。

脅威を感じたトマスが避難したのがチェンナイビーチ付近のリルマウント大聖堂の座だ。トマスはここで祈りに専念したという。大聖堂の案内文には、「トマスが祈ると死者が生き返り、悪魔が追い出され、ハンセン病者が良く、盲人が目を開いて病者たちが癒された。奇跡は今も起こる」と記録されている。周辺にはトマスが祈ったという洞窟が保存されており、祈りに専念していたトマスは結局窓に刺され殉教する。その時がAD72年だ。

C.キリスト教のローマ帝国東への広がり

c. ペルシャキリスト教

- 1) とても孤立した教会でしただ。
- 2) ローマ帝国の迫害から逃避したクリスチャンがここに流れ、北アフリカのような修道院運動が始まる
- 3) 断片的な新約書と外伝などを持っている。



C.キリスト教のローマ帝国東への広がり

d. アラビアキリスト教

多くの異なる種類のクリスチャングループが歴史的にアラビア地域に登場しました。修行するクリスチャングループだけでなく

ネストリアン科 Monophysites（単性論者：イエス・キリストが2つの性質ではなく、完全に神聖であるか、部分的に神聖であり、部分的に人間の1つの性質を持っていると信じる人）。

I. 最初の300年間、ローマでの宣教の概要

・使徒の働き後の宣教師役

- A. おおい帝国での宣教は迫害の下で教会が広がります。
- B. ローマ帝国の南部：北アフリカ砂漠の修道士運動
- C. ローマ帝国 東への拡散
 1. シリアのキリスト教
 2. インドのキリスト教：トマスの宣教
 3. ペルシャキリスト教
 4. アラビアのキリスト教

II. AD 400-800、宣教歴史の概要

A. ローマ帝国のキリスト教：ローマ帝国がキリスト教を国教化する

B. ケルトキリスト教の宣教：

1. ニーニアン、スコットランド修道院運動
2. 聖パトリック、アイルランド宣教の使徒
3. 聖コロンバ、イオニアミッション
4. アイダ、イギリスの宣教の使徒

C. ローマキリスト教宣教

1. 対ゲレゴリー
2. カンタベリー・オーガスティン、イギリス改革
3. ポニフェス、ドイツ宣教の使徒（AD 680-754年）

D. イスラムとの出会い

E. ネストリアンキリスト教の東進宣教

1. アラビア
2. インド
3. 6世紀の中国の教父、AD 635年公式布教活動

II. AD 400-800、宣教の歴史

A. ローマ帝国の中のキリスト教

1. 歴史的背景

- a. 300年頃初期：ローマ・ディオクレティアン皇帝（245-313）によるキリスト教の迫害が頂点に達する。
- b. 312年10月28日：コンスタンティンが天に現れた十字架のサインを見て、クリスチャンの神が彼に戦争で勝利を与えたことを確信しました。
- c. 313年1月：コンスタンティン・イリシニウス（Licinius）に会い、ローマ帝国内にキリスト教に寛容を施すミラノ勅令を作った。
- d. 380年：キリスト教がローマ帝国の国教になりました。



II. AD 400-800、宣教歴史

B.ケルトキリスト教の宣教：ピロマクシスチヤン運動
北アフリカ砂漠の修道士運動に起因する。

1. ケルトのキリスト教の4人
 - a. **ニーニアンとスコットランド修道院運動**
 - 1) AD 360年スコットランドで生まれました
 - 2) 彼を監督に任命し、ローマへの巡礼
 - 3) フランス全土に修道士コミュニティを設立したトゥールの聖マーティンを訪問
 - 4) 禁欲主義の修道院を建てる：修道院のコミュニティは孤立しています。
 - 5) ホームに戻った後、アイルランドのホワイットホームに修道院を建てた。そこから
- 訓練を受けた宣教師たちはコミュニティからスコットランドに進出し、彼らは学術的で、極端な禁欲主義的特性を持っています。

II. AD 400-800、宣教歴史、ヨーロッパ

b. **聖パトリック、アイルランド宣教への使徒**
アイルランドのキリスト教の始まりは聖パトリックが先頭。
しかしパトリックはアイルランドをキリスト教に導いた。

- 1) 聖パトリックの簡単な歴史。
- (例) 16歳でアイルランドの海賊によって拉致され、そして奴隷として引きずられた、そしてこの奴隷期間にクリスチャンになる
- (2) 奴隷から逃げ、フランスで捜査される
- (3) アイルランド人から要請を受ける
「聖なる少年よ、来て、また私たちの真ん中に立ちなさい」
- (4) アイルランドへの宣教師として行くために準備する、ついに40歳で送られた
- (5) アイルランドのドルイド地域に入り、福音の勝利と異教主義を征服する。

II. AD 400-800、宣教歴史

- 2) 聖パトリックの特徴
- (1) 指導者たちの導きと訓練
(2) 戦略：まず、ローカルリーダーをイエス様に導きます。これが集団回心への道です (メモ：これは初期のキリスト教の拡大における領域主義の証です)
- (3) すべての主要都市と村に修道院を建設することは回心、弟子訓練の訓練のための責任でした。
- (4) 状況化された働き
(a) シェムロックを三位一体の説明に使用する。
：伝説によると、聖パトリックはそれをキリスト教の三位一体の比喻として使用し、アイルランドの象徴として知られています (国旗)、**SHAMROCK**という名前は、単に「小さなクローバー」または「若いクローバー」を意味する三葉のクローバーとしてアイルランドの**SEAMRÓG**から派生しました。
(b) 人々が福音を理解しやすくするために、伝えていました。



II. AD 400-800、宣教歴史

- c. **聖コロンバのイオニア宣教**
1. 歴史
(1) アイルランドにおけるケルトのキリスト教の影響下で成長する
そしてアイルランドに修道院を設立しました。
(2) AD560年：コロンバは原書の著作権問題で何千人もの人を傷つける政治的問題を引き起こした論争に介入し、コロンバは個人的に責任を感じた。
(3) コロンバはアイルランドのピーチをもう見ることができなところまで去り、イオナ島に到達。
2. 聖コロンバの特徴
(1) 宣教師たちの訓練に献身する。
(2) 奇跡とリーダーを信じる。
(3) 特別な人々のグループに集中する (人々のグループの概念の最初の例)
(4) 自転、自治、自生の教会を確立する。

II. AD 400-800、宣教歴史

d. **アイダン、イギリスの宣教への使徒**

1. 歴史
北ウンブリアの王オスワルド AD 634年に改宗 (今イギリス北部)。
彼は彼の統治領域全体にキリスト教を広める。
・オスワルドはローマではなくイオナに宣教師の要求を送る
(ケルティックキリスト教はローマから独立して成長)
・イオナ コールマンを送るが、彼は戻ってきて、ウンブリアン野蠻人たちが福音化するのが難しいと報告。
・アイダンが代わりに自発的に635年にリンディスバルンに行く。
リンディスバルン島で一日の半分は楽しみ、半分は福音伝道を進める。

II. AD 400-800、宣教歴史-帝国内のローマ宣教

A. **グレゴリー。**

1. 教会史と宣教師の視点
- a. 教会から：グレゴリーは最初の教皇と見なされます。彼はローマ総督の優位性を確立します。
- b. 宣教師から：グレゴリーはアングルで奴隷少女に会い、彼はこれらのアングル (Angles) が天使たち (Angels) になるようにしようと、言及した後 40人のイタリヤの修道士を AD 596年にイギリスに送ることにしました。

AD 400-800、宣教歴史-帝国内のローマ宣教

2. カンタベリー オーガスティンの宣教とイギリスの改宗。

a. 歴史

- オーガスティンと他の修道士は躊躇する宣教師でした。彼らはイギリス海峡に到着しましたが、放棄して撤退します。しかし、グレゴリーは彼らをさらに訓練して再送します。
- ケントの王エデルバルトは彼らがベースを構築することを許可しました。
- 修道士は修道院をカンタベリーに建て、1世紀の教会があった残骸に、すなわち聖マーティンにベースを確立しました。
- ケントの王エデルバルトはクリスチャンになり、彼によって集団改宗が起こりました。

AD 400-800、宣教歴史-ローマ帝国内での宣教

3. ボニーフェイス、ドイツ 宣教の使徒 (AD 680-754年)

- a. ボニーフェイスの生涯。
 - 1) 40歳までのイギリスの修道士
 - 2) 722年、グレゴリー2世がボニーフェイスをドイツフロンティアの監督に任命した。Hesse/Geismarへの宣教師
 - 3) この時、ヨーロッパの宗教はスカンジナビアンとドイツ的信念が混ざっていた。彼らは3つの主要な神々、すなわちオーディン、トール、タイを崇拝していました。
 - 4) トールは雷神として運命を決定する神であり、彼はトールのオークと呼ばれる神聖視するオークから崇拝され、人々はその木を悩ませるどんな人でも殺されたり、運命の手によって苦しんだりすると信じました。
 - 5) ボニフェスはトールの木を切り取り、その木で教会を建てました。
 - 6) 人々はボニフェスの神が彼らの先祖の神よりも強いと確信しました。これは力の働き の例です。

AD 400-800、宣教歴史-帝国内のローマ宣教

b. 宣教の遺産

- 1) 能力省の前例を確立する
 - 2) クリスチャンを使用するために世俗的なフォームを使用する (Tor の 木を切って教会の建物に使用する)
 - 3) 女性を宣教に動員する
 - 4) 彼はローマ教会をマニユアル化し、キリスト教の現地の表現を制限する。
- (これが重要なテーマになります。キリスト教の輸入版が世界の多くの場所でキリスト教を深く根づけることを制限しました。これがイスラムに足場を提供しました)

II. AD 400-800、宣教歴史-イスラムとの出会い

- A. 紹介：イスラムがアラビア半島で始まり、地中海世界の半分を征服し改宗させたのは中世史で大きな事件であり、
- イスラムはキリスト教以来起こった唯一の世界宗教であり、7世紀から現在までキリスト教にとって最大の脅威となってきました。イスラムの理解は十字軍を理解するためにも重要です。
- B. イスラム宗教の誕生と拡大：栄光の100年。
 1. メッカ
 - a. メッカはアラビアン半島の宗教的首都であり、預言者と祭司でいっぱいです。
 - b. とても多神教的で、これはカバのような構造物の中で見ることができます。当時、カバの中でムハンマド当時のアラビア半島の様々な神々の360の神像がありました。

AD 400-800、宣教歴史-イスラムとの出会い

2. モハメド登場

- a. 彼の親戚はメッカで新しいものを作った責任者。
- b. 25歳でカーディザという40歳の女性と結婚
- c. 後にムハンマド夫人カーディザ貿易事業のアラビア西部海岸ヨーロッパ間を行き来するカラバン貿易 責任者になります。
- d. 旅行中、彼はキリスト教とユダヤ教の信念を知りました。また、ハナバと呼ばれる単身論のアラブ人を知ります。

AD 400-800、宣教歴史-イスラムとの出会い

3. モハメドへの啓示：新しい単身論が生まれた。

- a. モハメドは、彼がイスラムの信念と新旧約の間に連携を提供すると信じていました。
- 彼はアブラハムと古代の団結論にイスラム教の根を置きたかった。
- b. コーランは繰り返し、トラと福音書、または律法と福音にすでに書かれたものを確定すると言いました。
 - c. ムハンマドはイスラムのために本を供給したいと思いました。まるでユダヤ人とクリスチャンが本の人だったかのように。彼はイスラム教徒に本がないことに刺激されました。

AD 400-800、宣教歴史-イスラムとの出会い

- d. モハメドはキリスト教とユダヤ教とイスラムの間の断絶を心に想像しませんでした。彼は初期の弟子たちにダニエルが行ったように、メッカではなくエルサレムに向かって 祈るように指示しました。
(後に彼らは彼らの信条の変化によってメッカに向かって祈り始めました)
- e. コーランは1) イエスに神性を与えませんでした。
2)旧約聖書の決定的に重要 部分を変えました。
- f. ユダヤ人とクリスチャンはモハメドの異端性に気づき、敵対し始めました。
モハメドはユダヤ人とキリスト教徒に敵意が高まりました。

AD 400-800、宣教歴史-イスラムとの出会い

- 5)モハメド死後100年間の軍事的影響
- (1) **アブ・ハカル** -アラビア部族がイスラム化され、軍隊を組織し、2年ぶりに クレセント地域にイスラム共同体 拡張。
- (2) **ウマル** -彼はモハメドがイランとエジプトとビザンチンに手紙を送ったと宣言し、イスラム教の司令官に自治し、彼はイスラムの信念を北にはビザンチンの心臓部まで拡張させる。
635年ダマスカス、 636年アンディオック征服、続いてイラクとイラン征服。
638年エルサレム、 640年カイサリヤ、 641年、アレクサンドリアを陥落させ、
644年エジプトを陥落させ、 651年ペルシャ全域を征服した、
多くの団結論者とネストリオンがイスラム教徒に改宗

AD 400-800、宣教歴史-イスラムとの出会い

- 5)モハメド死後100年間の軍事的影響
- (3) **ウットマン** -弱い指導者、ジブラルタル海峡を渡ってヨーロッパを侵攻する **スペイン**を征服するフランスに行ったが、**撮影 マーター** トゥール戦争での勝利でイスラムの進軍を遮断する。
- (4) **アリ** -イスラム教徒のスニーとシアファに分けられる。東に拡大しました。
- この100年間、初期のキリスト教の3大要塞、エルサレム、アンディオック、アレクサンドリアがイスラムに陥落しました。彼らは軍事的に敗北したため、キリスト教は十字軍軍事的に対応することになる。

II. AD 400-800、ミッション歴史-ネストリアンミッション

- A. **アラビア**
- ネストリアンはAD 339年に始まったペルシャ内のキリスト教迫害のため、アラビアに福音を持っていくになります。
 - ムハンマド出現期にその地域でネストリアンの活動は否定される 事実です。
 - ネストリアン宣教の初期に、三位一体の確立やキリスト論は弱かった。
 - カルケドン評議会がAD 451年に開催されたことを覚えておく必要があります。
 - カルケドンの後にネストリアンとの **和解の様々な動き**がありました。
- B. **インド** : シリアの前例とネストリアン 強調する教会が始まります。

II. AD 400-800、宣教歴史- ネストリアンアジアのミッション

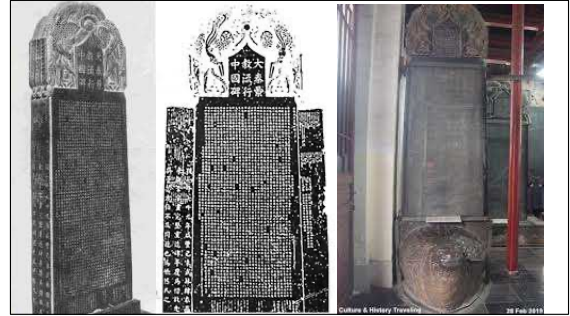
- C. **中国**:
- イスラムの拡大でヨーロッパに向かって道を塞いで、イスラム教徒がクリスチャンの往来と貿易路を遮断することで、言い換えれば、西欧キリスト教はアジアで詰まります。
 - 東のアッシリアン教会は極東に向かって急速に拡大します。
 - 党王朝はその当時、世界で最も豊かで先進化された場所である。歴史家たちが思います。
 - いくつかの古代の伝統と証拠は、中国にキリスト教が存在することを示しています。
 - 1623年にネストリアン記念碑が発掘されました。
 - ネストリアン記念碑
 - 初期の中国キリスト教の3つの特徴は修道院的、中国語の使用、仏教の教えを借りる。

II. AD 400-800、宣教歴史- ネストリアンアジアのミッション

- 6世紀の中国の教交、AD 635年公式布教活動。
- 中国ではすでに西暦6世紀頃から 布教の信徒たちがいました。唐が入ると、 マニ教、ゾロアスター教、イスラム教などと共に **認定**されます。
 - 西暦635年にペルシアのシリア教会から派遣したアラベンと呼ばれる司祭が唐の国で布教活動を公式に始め、
 - 「**党の二大皇帝だった太宗の史跡**を見ると、**皇室がキリスト教（景教）を受け入れ、**その中で**教養教育**を行ったという内容があり、これは**党皇室が皇族たちにキリスト教教理教育をした**ということで、その当時、**景教の位置を示す**主題です」

中国の景教

- 以来、唐の13度358通に警備員（教会）を建てたので、地方ごとに彼らの寺院（教会）が一つずつあったわけです。
- 自分たちの宗教を認定された教会の信徒たち
唐全盛期の781年に西安に景教寺院（教会）である
大津寺（大秦寺）を建設
「大津景教流行中国碑」という記念碑を建てます。



景教記念碑

- 景教碑の内容は大きく3つの部分に分かれていますが、
- 最初の段落には神に対する賛美が含まれています。
- 二つ目は、中国皇帝がキリスト教をどのように育成したかについての記録が示されている。
- 最後は聖霊神に対する賛美が出てくる。
- 碑文の内容の中で、「法律は全国に広がり、国家は裕福で民は善となりました。教堂が各町に充満し、家ごとに大きな福が繁栄した」（法流十道 國富元休 寺滿百城 家殷景福）という記録から当時、景教が隆盛したことが分かる。

中国の景教

- 「大津寺という名称が寺の名前のように感じられるが、当時「駐」という名称が仏教に限定されず、宗教施設を指すことを考えると、大進士は明らかな教会であり、中国初の教会です。」
- 景教に対する社会的認識も良い
太宗の史跡には「あらゆるところに教会が建てられ、国が平穩だった」として
國の復興と民の安定に対する理由を景教に回します。
- 景教は唐の時代に2代の太宗を経て、6代の玄宗で最前盛期を合ったりするなど、かなり長い時間唐の中心宗教として定められたが、
- 15代無宗 道教國文化と他宗教弾圧を経て、
中国では、景教が徐々に衰退していきます。

II. AD 400-800、宣教歴史の概要

- A.ローマ帝国のキリスト教：ローマ帝国がキリスト教を国教化する
- B.ケルトキリスト教：ピロマクリスチャン運動
 - 1. ニーニアン、スコットランド修道院運動
 - 2. 聖パトリック、アイルランド宣教の使徒
 - 3. 聖コロンバ、イオニアミッション
 - 4. アイダ、イギリスの宣教の使徒
- C.帝国内でのローマ宣教
 - 1. グレゴリー
 - 2. カンタベリー・オーガスティン、イギリス改宗
 - 3. ボニフェス、ドイツ宣教の使徒（AD 680-754年）
- D.イスラムとの出会い
- E.ネストリアンキリスト教の東進宣教
 - 1. アラビア
 - 2. インド
 - 3. 6世紀の中国の教交、AD 635年公式布教活動

738年景教の日本伝来

- 続日本記 聖武天皇の年の738年、唐の人ファンフ（皇甫）がヘルシヤ宣教師イミルイエを伴って天皇に会ったという記録がある。
- これで、先延ばしや渤海でも、景教に関する議論があったことを推定してみることができただろう。



III. 3番目の拡張AD 800-1200宣教歴史

十字軍の時代

800-1200 AD.宣教歴史

I. 十字軍

A. なぜ議論をするのか？

1. 彼らは宣教師の努力として始まりました。
2. 彼らが間違ったことを繰り返さないように学ぶ必要があります。
3. イスラム教徒は時々十字軍について言及します。したがって、特にイスラム教徒を連絡する宣教師は、十字軍について知る必要があります。

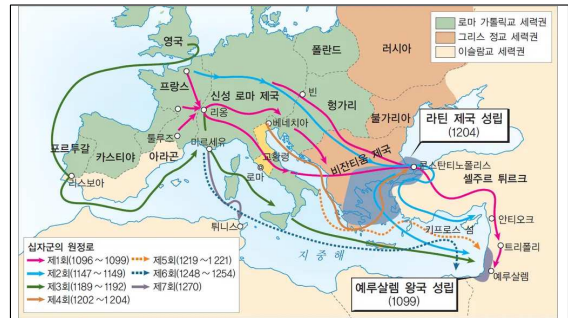
B.十字軍の定義：一連の聖地への7回の大遠征 多数の小規模遠征 (1095-1250)

十字軍

C.十字軍の即時の理由：セルチュルトルコが1071年にビザンチン侵略のために西ヨーロッパに助けを求めた。

D.歴史的背景/十字軍の理由：

- a. 11世紀の聖地への巡礼：聖地を渴望、イスラム教徒の聖地統制と支配 絵画の訪問をブロックする。(イスラム教徒が636年アンティオック征服、638年エルサレム、640年カイサリヤ、641年アレクサンドリアハラクシム)
- b. 衰退する教皇の権力：グレゴリ7世が追い出され、1年ぶりに死亡。そして後任者が1年ぶりに死亡した。1088,ウルバン2世は、ヨーロッパの精神的な更新と連合の必要性として東西の連合を追求。
- c. 前例：聖なる戦争への祝福。
- d. 財政：東部世界が所有する莫大な富を探る。



3番目の拡張AD 800-1200. 十字軍

2.十字軍の出陣：一次(1095-1099)、二次(1146-1147)、三次(1189-1192)、四次(1202-1204)、子供の十字軍、5次(1218-1221)、6次(1228-1229)、7次(1248-1250)。

一次: 五千人の武装した主にフランスの農民がコンスタンティノープルに到着

1097年4月にニクアを奪還し、1098年春にアンティオックを回復した。

1099年に聖地を回復し、その年にエルサレム王国を建てた。

教皇はこの平民グループを約束の地への巡礼者の保護者として任務を委託する。

二次: 1144年、イスラム教徒が北西エルサレムの一部を再び占拠した。

修道士クレルボのバーナードがエルサレムを再奪還するために

2番目の十字軍を送ることを促す。

フランス王と神聖ローマ帝国皇帝が出政し、ダマスカスで敗北

1187年サラディンがエルサレムを占領した。

十字軍

第3次：フランス主フィリップアウグストゥスとイギリスのリチャード王がエルサレムを奪還できない

キング・リチャードはサラディンに巡礼者たちがエルサレムにアクセスできるように妥協する。

4次：教皇インノセント4世によって招集され、エジプトとコンスタンチノープルの基盤を確立することで

軍隊が聖地に簡単にアクセスできる戦略を策定し、

十字軍はコンスタンチノープルを1204年に支配した。

この過程で、コンスタンチノープルキリスト教の聖なる物などが破壊される。

これは東西キリスト教の間の敵意を引き起こします。

ラテン総司教をコンスタンティノープル総司教に任命する。

ギリシャ正教会ローマカトリック 教皇の下にはいる。

3番目の拡張AD 800-1200。十字軍

- ・ **子供の十字軍**：1212年、フランスとドイツの少年たち数千人が集まり、彼らは純粋に成功すると信じ、捕虜で捕まって奴隷で売れたり死んだり、誰も聖地に到着できません。

第5次：エジプト征服目的、1219年に達したが押された。

第6次：フレデリック 2世によって導かれ、**聖地へ還る**。
エルサレム、ベツレヘム、ナザレツ、ビーチへのアクセスを確保するための条約
15年後、イスラム教徒は再びアクセスを禁止しました。
第7回：フランス・ルイ9世がエジプトを征服
1291年に聖地に残ったクリスチャンの要塞がイスラム教徒に陥落しました。

3番目の拡張AD 800-1200

3. 評価。
- a. 霊的：イスラム教徒とキリスト教徒、そして東西キリスト教の間の流血。難しい関係。新約聖書は戦争を拒否し、コーランは戦争を支持します。
 - b. 軍事的/政治的：多数の人々の思想
 - c. 社会的：記事の没落、農民の地位が上昇する。
4. 結論。
聖地への扉が開かれ、教会 & 国家の政治的連盟の評価

3番目の拡張 (AD 800-1200) のまとめ。

西ヨーロッパ：十字軍戦争、聖地の奪還

東アジア：景教のミッション-中国/モンゴル、中央アジア、
渤海(ぼっかい)/日本/朝鮮半島(?)

4番目の拡張。 1 200-1600年の宣教歴史の概要

- A. **イスラム宣教**：イスラムへの使徒レイモンドルール (Raymond Rull 、 AD 1235-1315)
- B. **宗教改革後期時代のカトリック宣教**
中国、日本、インドでのイエズス会と、新世界でのドミニカン修道士たち
1. **フランシス サビエル** (1506-1552) とイエズス運動
- a. 1542年インド宣教
 - b. 1580年北部インド、モンゴル帝国
 - c. 1549年日本での働き
 - d. **インドのアクバル宮殿のサビエル** (1556-1605)
2. **マテオリッチの中国での宣教**：1583年に中国に入国
3. **ラス カサス** (1474-1566)：南アメリカインディアンミッション1542年のチャーター特権
- C. **宗教改革者の宣教への視点**

A.イスラムへの使徒レイモンドルール

初期の人生、回心、そして宣教師として献身

1. AD1232：スペイン東部海岸のマゾリカの島で生まれた。
2. ルールはスペイン内でクリスチャンとイスラム教徒の間に多くの紛争があった時代に生まれました。
3. クリスチャンはスペインの都市国家と多くの国々を政治的に統治することを回復するために戦っていた。
4. ルールはアラゴンの宮廷で世俗的な情熱にさらされた生活を返ります。
ルールは、彼が愛するようになった女性にラブレターを書いているとき神の表れを通して回心する
5. ルールは主に「私はどのようにキリストに仕えるのですか？と尋ねキリストは彼に恵みの力を思い出させる
6. AD 1266年にアッシジの聖フランシスコがした説教を彼が聞いたとき彼は深く感銘を受け、彼自身宣教師として献身するようになりました。

イスラムへの使徒レイモンドルール

宣教師訓練学校の設立

- 1) 慈悲深く行くことができる何百人もの修道士を引き起こすビジョンを抱く
- 2) 訓練は総合的で、神学だけではなく、医療訓練、芸術、文学、歴史などを含めるべきだと主張する
- 3) イスラム教徒は彼らの知識ベースが広いので、宣教師はより広いプロジェクトにアクセスする必要があると信じる
- 4) これは福音と文化の相互作用のための良いケーススタディでした。
- 5) **イギリスのジェームズ王子**がマジョリカに修道院を設立し、13人の修道士イスラム教徒のミッションフィールドのために訓練を継続的に受けるように確信した。
- 6) 1276年。 10.17 **教皇ヨハネXXI**が修道院のための書類にサインをする。しかしルールは彼自身が財政後援を引き起こさなければならなかった。
- 7) 過去10年間、ルールはキリスト教王と修道士の間でスポンサーを得ることに成功しませんでした。彼はローマに再び訴えるが、教皇Honorius IV 亡くなり、その仕事に空白がありました
- 8) 53歳で、ルールは彼のの方法が歴史的であることを証明するために宣教師として直接監督しました。

イスラムへの使徒レイモンドルール

殉教者：ルールの残りの唯一の目標は殉教者になることでした。

- 1) 彼はチュニジアに戻ったが、彼が驚いたのは、彼の初期の脱教を通して、イスラム教徒からキリスト教に戻ったクリスチャンに会います。
- 2) アルジェリアだけでなく、キリストに回心したいいくつかのイスラム教徒が見つかりました。
- 3) 彼が再びチュニジアに戻ったとき、彼は80歳になりました。
1315年。6/30 彼はオープンマーケットで福音を伝え、彼は石に当たって殉教します。
- 4) ルールは殉教が彼の人生の終わりに神を喜ばせる道を行くことと信じていました。
- 5) 彼は殉教でイスラム教徒にとって重要な証人になったと信じていました。
- 6) 一人が福音のために彼の命を落とすならそれが教会が福音のために献身するようになることと信じていました。

II. 宗教改革後期時代のカトリック宣教

A. ザビエルが日本に行った。 1549年8月15日到着

- a. 彼は日本の文化によって衝撃を受けた。それはとても洗練されています 発展して秩序が取れ調練されていた。
- b. 仏教は主要な宗教でしたが、日本人は新しいアイデアに非常にオープンでした。
- c. ザビエルはクリスチャン以前の社会における神の働きを反映し始めた。日本文化は完全に拒絶される必要はなかった。宣教が対面することになる自然神学の再評価があった。
- d. ザビエルは2年間滞在し、日本人信者たちの小さなグループを残すようになった。この日まで存在するエリートクリスチャンコミュニティになった。
- e. アレクサンドリア・バリガノ(1537-1606)。イエズス会の宣教はアジアのあらゆる場所に行き、イエズス会が極東で働いた三つの原理を確立する。
 - 1) 地域的な慣習と表現を採用する。
 - 2) 日本人指導者をヨーロッパに送る。
 - 3) 祭司たちとして日本人の助手を奨励する。
- f. 1600年頃の終わりに、30万人の洗礼を受けたクリスチャンが日本に生まれました。

4番目の拡張：1200-1600

- B. マテオ・リッチ(1552-1610) 中国でローマカトリック宣教の創設者。
1. イタリアで生まれ、1571年イエズス会に加入。彼はインドの孤児に行き、花嫁として守り、神学校で教えた。
 2. ザビエルの日本での働きの影響を受け、そして北アジアと南アジアの違いに興味を感じる。
 3. マテオ・リッチは中国に向かうが、中国はキリスト教の伝来に対抗する。バリガノは中国に福音を状況化する包括的な戦略を使用することになりました。

4番目の拡張：1200-1600 AD

- 中国でのマテオリッチの状況化された宣教師役。
- 権威が与えられるまで中国語と文化を勉強し、1583年に中国の官僚から入国許可を受けたときに中国に入った。長い時間中国の重要な思想を混乱させる。リッチは中国語をローマ化し、4冊の中国本をラテン語に翻訳する。1586年中国語で最初の教義を出版した。1601年にリッチは皇帝が住む紫禁城(しきんじょう)に入ることを許され、彼は中国人指導者たちと働くことになった。
- 1) 中国式の教義問答
 - 2) 神への用語- T'ien (空) Chu (主) と Shang Ti. (天主上帝)
 - 3) 儒教と祖先祭司：文化への礼儀。礼拝ではありません。祖先の名
 - 4) クリスチャン世界観から中国へのアプローチの總体的哲学が欲しい
 5. マテオリッチの死：1610. 5.10 紫禁城への埋葬の許可を受ける。彼は状況化の先駆者だった。ハドソン・テイラーが中国に到着したとき、プロテスタントとしてマテオリッチのプラットフォームを受け入れます。

4番目の拡張：1200-1600、宗教改革と16世紀の宣教への態度

A. 宗教改革の目で見たキリスト教への紹介

1. 西ヨーロッパのキリスト教の孤立：文化的・宗教的な壁。
東ヨーロッパのキリスト教は：十字軍と西ヨーロッパとイスラム教徒による敗北恥ずかしい感じ。
2. 1493年5月: Padroado。3つのアレクサンドリア6世教皇勅令。
-どんなキリスト教の地でも、王や支配者はその支配地域にキリスト教の信仰をもたらす責任があります。
-植民地運動は教会の拡大を助けます。
-南極と北極から大西洋の西はスペインに属し、東はポルトガルに属する。

4番目の拡張：1200-1600、宗教改革と16世紀の宣教への態度

B. 宣教への宗教改革者の態度

1. 宗教改革への歴史の中で大統領令の解釈 (マタイ28：18-20)
 - a. キリストの神聖の教義
 - b. 彼らが教会の宣教についてなぜ執着しなかったのか。
 - 1) 彼らはそれを見なかった
 - 2) それがすでに達成されていると信じていました使徒的伝統は、使徒たちはすでに地の果てに行ったと言いました。
2. 大宣教命令へのルーターの見解。大宣教命令が成就したとみた。
地域の領主は彼の民の霊的福祉に責任があります。
ルーターは私たちが人々に福音を伝える霊的権威を持っていませんでした。
教会は特別な地域がうまくいくために王の同意が必要です。

4番目の拡張：1200-1600、宗教改革と宣教に向けた16世紀

3. **カルバン**の**宣教への見解**：教会の進歩の使徒的性格の本性を拒否する。
 コリント12:28 コメント：主は全世界に福音を伝えるように使徒を立てた。牧師は教会の世話をするように建てられました。
 五重の働きで使徒は1世紀に限られています。
 エペソ4:11コメントでは、使徒は十二弟子たちとパウロに限られています。
 ハイパーカルビニズムは、教会は人間の努力によって増加しません。
 救いの主導は人間ではなく神様です。

4. 一致しない声

- a. **Adrian Saravia** (1531-1613)：私たちは世界の終わりまで一緒にいた、
主の命令すべての種族を弟子にさせよ。
 a. **再洗礼派運動**：過激な改革。政府-宗教接続反対、幼児洗礼反対、
 b. **マタイ**-使徒の働きへの**エラスムス**の強調：
 マタ28:18-20は使徒行伝1:8につながります

4番目の拡張：1200-1600、宗教改革と宣教に向けた16世紀

5. 代表的反対の声

- a. **ルター**とは、**ヨハン・ゲハルト**：使徒の役割はユニークです、働き手による教会の地球規模の拡大は使徒の役割への侵入です。
 地球福音化オベレーションは神の主権への挑戦です。
 a. **カトリック**、**ロバートベラマイン**：プロテスタントからカトリックに改宗する。
 b. **教皇グレゴリー15**歳は**プロテスタントに先んじる**：宣教指針を伝えた。
 d. **宗教改革者が宣教に興味を持っていない理由**は：教会の当面の神学的生存問題で葛藤し重視し、宣教は神学外の問題だった。
 プロテスタントは植民地のない国である北欧に位置しています。
 宗教改革者たちは聖書神学にすべての関心を傾けました。
 その後、聖書翻訳はプロテスタント宣教師運動に発展します。

4番目の拡張。1200-1600年の期間の宣教の概要

- A. **イスラム宣教**：イスラムへの使徒レイモンドルル (Raymond Rull, AD 1235-1315)
 B. **宗教改革後期時代のカトリック宣教**
 中国、日本、インドでのイエズス会と、新世界でのドミニカン修道士たち
 1. **フランス** **ザビエル** (1506-1552) と**イエズス運動**
 a. 1542年 **インド** 宣教
 b. 1580年 **北部インド**、**モンゴル帝国**
 c. 1549年 **日本**での働き
 d. **インドのアクバル宮殿のザビエル** (1556-1605)
 2. **マテオリッチ**の**中国**での**宣教**：1583年に中国に入国
 3. **ラス・カサス** (1474-1566)： **南アメリカインディアン** 1542年の**チンチー**時機
 C. **宗教改革者の宣教への視点**

5番目の拡張 (1600-2000)：プロテスタント宣教の偉大な時期、プロテスタント宣教歴史の概要

- A. **Danish-Halle 宣教**
 敬虔主義の根 (スウェーデンと فرانケ)
ヤーゲンバルグとフルチャウの最初の2人のプロテスタント宣教師：デンマーク王はインドの植民地に宣教師を送ることにしました。ーインド1706
 B. **Moravian ミッション**。 **ジンゼンドルフ** (1700-1760)、1722年にモラビアンのために大領地コミュニティ (ユニタス Fraternum) を設立し、巡礼者の家の開拓。
 C. **北米でカトリック宣教/イエズス会** 1632年にカナダに到着。
 D. **ジョン・エリオット** (1604-1690) / **インディアン** 宣教
 E. **ヨナタン・エドワード** (1703-1758) / **インディアン** 宣教
デビッド・ブレイナード (1604-1690) **インディアン** 宣教

5番目の拡張 (1600-2000)：プロテスタント宣教の偉大な時期、プロテスタント宣教歴史の概要

- F. **ウィリアム・キャリー**と**インド** 宣教
 G. **アフリカ**への**宣教**
 H. **中国**への**プロテスタント** 宣教
 1. **ロバート・モリソン** (1782-1834)
 2. **Karl Gutzlaff** (1803-1851)
 3. **バドソントイラー** (1832-1905) と中国から宣教会 (CIM)：1875年頃、**テイラー**は 641 人の宣教師を監督するようになりました。
 4. **中国の家庭教会運動**
 I. **日本へのプロテスタント** 宣教：イエズス会は 1500-1700 年の間に日本で献身と情熱と委託で性格が究明される働きをした。しかし、実は非常に少なかった/ 1.13% は**プロテスタント**
 J. **韓国**への**プロテスタント** 宣教

5番目の拡張 (1600-2000)：プロテスタント宣教の偉大な時期、プロテスタント宣教師運動

- A. 紹介：聖公会、長老教会。ルーテル教は政治的構造と結びついた。したがって、**宣教師の動きは周辺部で起こります。**
 B. **Danish-Halle ミッション**
 1. **敬虔主義的な根 (スウェーデンとフランケ)**
 a. **ヤコブ・スベナー** (1635-1705) -1675年 Pia Disideria：
 知的信仰に挑戦し、敬虔主義は第二の宗教改革です。
 召し、聖書研究グループ、賛美、敬虔の時間、家庭教会。
 b. **アウグスト・ヘルマン・フランケ** (1663-1727)：
 敬虔主義は**国心**の経験を強調し、
聖書をどのように人生に適用するかを強調します。
 彼のティーチングの核心は**ミッション**でした。



5番目の拡張（1600-2000）：プロテスタント宣教の偉大な時期、プロテスタント宣教師運動

2. **ジンゲンバルグとフルチャウ**、最初の**プロテスタント宣教師**：デンマーク王はインドの植民地にプロテスタント宣教師を送ることにしました。1706年、7月9日インドに到着しました。フルチャウ5年後にマラリアで死。ジンゲンバルグ 36歳までの13年間の宣教師の生活。彼は彼が行ったすべてを記録に残した。

・**ジンゲンバルグの働き**の重要な特徴

- ・聖書を翻訳する
- ・シチュエーション/対応-ヒンズー教の勉強後 コンタクトポイント発掘する。
- ・カースト制度拒否、
- ・低階層を経済的に社会的に助け、
- ・すべての信者の祭司長職を強調する。
- ・**シュヴァルツ**は48年間、ミニストリーシナリストを伝え、彼は最初のインディアン監督になりました。



5番目の拡張
(1600-2000) : プロテスタントミッションの偉大な時期
プロテスタント宣教師運動

C. Moravian Mission

1. **牧師主権モザル**
2. **ジンゼンドルフ** (1705-1790) フランクの 17で訓練を受ける。ミニストリーの人々。彼は1731年。

彼は卒業後、デュッセルドルフミュージアムで **エホバの証人を見ています**
私はあなたのためにこれを受けましたが、あなた様のために何をしましたか？
という質問が来た **エホバ**。受けたキリストの愛が彼を導いた。
私のために、おかげのある出さかぶって死んだ王のために何かをすることになりました。

モラビアンのとりのなしの祈り

1722年、モラビアの大きな領地コミュニティ-Unitas Fratrumを設立しました。1726年に300人が一緒に生活し、

1727.8.13聖霊が大いに祈りに臨んだ数百人が宣教に献身する。100年の中見も。

ミッション前進基地として。ジンゼンドルフは兄弟団を構築する。

この兄弟団はモラビアンと呼ばれる宣教師派遣機構となる。

彼らは世界宣教の祈りと福音の伝道、賛美と崇拜、私的献身。愛、礼拝に捧げられる

モラビアン

巡礼者の家、家庭教会、 Ecclesiola in ecclesiae.

簡単に移動できる小さなコミュニティを建て、self-supportingを通じて全プロテスタントが過去200年間送った

より多くの宣教師を送ることができました。ミッションをコミュニティの存続目的とする

モラビアンコミュニティの宣教内容

- ・1732年にこのように始まった彼らのミッションは、1735年にはグリーンランドとスリナム、1737年にはアフリカ、1740年にはアメリカインディアンとセイロン、1742年には中国、1747年にはベルシア、1754年にはアンティグア）まで宣教師を派遣した。1760年、ジンゼンドルフが死ぬまで28年間、モラビアン教会は226人の宣教師を輩出しました。ジンゼンドルフ死後も、モラビアン共同体は西インド諸島で200年にわたって3千人の宣教師を支援する驚異的な記録を立て、海外宣教地の信者数が教会信者の3倍にもなる驚くべき成果を見せた。

- ・モラビアンはプロテスタントの歴史の中で初めて宣教中心的な生活を送ったコミュニティでした。

モラビアンミッション運動の特徴

- ・モラビアンが短期間で世界中で宣教的な影響を及ぼす可能性のある原因は何ですか？
- ・まずは祈り運動をした。彼らは1727年から24人で構成された祈りの集まりを作り、男女二人がペアを組んで真夜中から1チームが1時間ずつ24時間祈禱（連禱）を始めた。驚くべきことは、この祈りがそれから百年以上続いたということだ。
- ・二つ目は受肉神的宣教をした。一例として、アフリカから捕まってきた奴隷たちに福音を伝えるために、自分自身が奴隷として売られていくことを決め、彼らの中に入って生きながら福音を伝えたという。このように、彼らはキリストの受肉神と受難を体で実践した。

モラビアンミッション運動の特徴

- ・第三は徹底した訓練と準備だった。彼らは共同体生活を通してキリストの軍事としてどこにでも行くために霊的訓練を受けた。また、生存のための実質的な生活準備をした。
- ・第四は平信徒中心の自費宣教をした。彼らは自給自足を原則として誰にも支援を受けなかった。モラビアンの中には技術者が多かったが、それは自立するためだった。
- ・第五は戦闘的な宣教だった。モラビアンは、本国の信者と宣教師の比率が12：1ほどでした。
- ・彼らは宣教に最高の価値を置いて生きた。

5番目の拡張（1600-2000）：新大陸のインディアンミッション

II. 新大陸での宣教

- A. イエズス会
1. 1632年にカナダに到着
 2. 彼らは先住民から重度の迫害を受け、喉が切れ、拷問され、火あぶりされている。
 3. イエズス会は南アメリカでミニストリー、今バラグアイ、そしてアルゼンチン。
 4. 孤立宣教を実現する
 - a. 回心者を文化的状況から孤立させ、場所も分離された場所に移す
 - b. クリスタウン設立：回心者がそこに一定時間滞在するようにする、約10万名程度がそこで経験をする。
5. 先住民の中でイエズス会への評価
- a. 良い：極端な犠牲的な模範、セルグループコンセプトのパイオニア
 - b. 問題：孤立的、依存性を引き起こす。

5番目の拡張（1600-2000）：プロテスタント宣教の偉大な時期

B. ジョンエリオット（1604-1690）インディアンミッション

1. ロックスベリー教会の牧会者。ロックスベリーは当時インディアン最前線に所在した。
2. エリオットは短期伝道旅行をする
3. 祈りの町を設立しました：回心したインディアンの村 弟子訓練を受けて訓練を受ける 送られて教会を開拓する
4. 1660年まで、エリオットは24人のインディアン伝道者を育て、送る。
5. エリオットはモヒガン語で聖書を翻訳する。

5番目の拡張（1600-2000）：プロテスタント宣教の偉大な時期

I. ヨナタン・エドワード（1703-1758）とミッション

- A. はじめに
1. アメリカの最も偉大な神学者の一人
 2. 大覚醒を引き起こす（1734-1735）
 3. ノースハムトン教会牧会辞任後、彼はストックブリッジでフロンティア教会の牧師
- そして彼はインディアナ宣教師になりました。
- B. エドワードが直面した反対
1. その当時教会の自由の見解を持つ理論者からの反対
 2. 詳細のスカンダル：地獄に福音を聞いていない人々たちへの議論



5番目の拡張（1600-2000）：プロテスタント宣教の偉大な時期

II. David Brainerd（David Brainerd, 1718-1747）

A. はじめに

彼は教会の歴史に現れた偉大な祈り手の人々の一人でした。彼は素晴らしい仕事をした人ではありません。そして長く生きることができなかった。彼はたった数百人のインディアンに福音を伝え、29歳という青春に世を去った人だ。

しかし、彼は祈りで一貫した生活を送った。彼は祈りで呼吸し、祈りで動いて、祈りながら息を収めた。ブレイナードは1718年に生まれ、彼の若さをアメリカインディアンのために夢に燃えながら、1747年に世界を去った。

彼は米国の大覚醒信仰運動を起したヨナタン・エドワーズ（Jonathan Edwards）に深い印象を与えた。彼はまた、イギリスに大きなリバイバルを引き起こしたジョン・ウェスリーにも深い感銘を与えた。彼はまた、ウィリアム・キャリー、ヘンリー・マーティン、ジム・エリオットのような偉大な宣教師の心を動かした。アメリカの偉大な教会史家であるラトレット博士は、「ブレイナードは数多くの人の心を動かして伝道者と宣教師になるようにした」と指摘した。

デビッド・ブレイナード

- ・何が多くの人の胸を動かしたのですか？ブレイナードの流暢な説教でしたか？彼のすばらしい業績だったか。いいえ。祈りに埋もれた彼の心から出てきた彼の言葉と彼の人生は人々の心を動かすことができました。

それは人生、インディアン先住民への福音の熱い愛と渾身の祈り、自分の身体を世話をせずに炎のように生涯を生きた間、彼の人生がそれぞれに話しかけてくるからであろう。彼の人生の特徴を3つにまとめてみる。

神様に完全に献身された人生を生きた。

真のクリスチャンの体験が何であるかを見せた。

宣教と奉仕の生活を送ることで彼の人生を終えた。彼は疎外され重たいインディアンと自分自身を同一視し、彼らと一緒に住み、生活した愛の生活を送った。

5番目の拡張（1600-2000）：プロテスタント宣教の偉大な時期

III プロテスタントMissionの偉大な発展：プロテスタント主義が地理的に展開

A. ウィリアム・キャリーとバプテスマ：現代宣教師運動の父

1. 初期の生活と影響

彼は1671年に生まれ、その時のアジア、アフリカ、ラテンアメリカの

プロテスタントは世界中のプロテスタントの1%以下でした。

彼は深刻な皮膚病を持っていたが、それは日光の下で

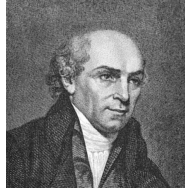
皮膚が非常に敏感に反応する病気でした。

彼の父は、彼が屋外の職業である靴職になるようにしました。

彼の訓練期間中、彼はジョン・ワルに会った。

彼はキャリーがクリスチャンの信仰に変わるのを助けた。

キャリーは同心後、世界に関心をもち、世界地図を作り始めた。



ウィリアム・キャリー

- 1779年にキャリーが19歳のとき、ある祈りの集会でヘブル13：13の言葉を心霊に深く受け入れました。
- ですから、私たちは、キリストのはずかしめを身に負って、宿営の外に出て、みもとに行こうではありませんか。をするようになりました。
- 彼は**全生涯**をキリストに捧げると祈りました。その後、彼は他のどの学問よりも**聖書研究**に専念しました。

ウィリアム・キャリー

- キャリーの中に火がついた世界宣教に対するvisionと聖霊の火はさらに大きく燃え上がりました。キャリーは「ただ**聖霊**があなたがたに臨んだら、あなたがたが**聖霊**を受け、エルサレムと全ユダヤ、サマリアと地の終わりまで、私の証人になるでしょう」イエス様の遺言的命令がまもなく私たち自身にくださる御言葉であることを信じました。
- この信仰で、1792年の春、彼は「**異教徒改宗に対するクリスチャンの義務に関する研究**」という本を書きました。彼はこの本を通して、世界宣教はクリスチャンが必ずしなければならない義務であることを力説しました。
- この本は、世界宣教を全ヨーロッパに広めるのに役立ちました。

ウィリアム・キャリー

- その後、キャリーはバプテスマ教会連合会の集会でイザヤ54：2,3「あなたの天幕の場所を広げ、あなたの住まいの幕を惜しみなく張り伸ばし、綱を長くし、鉄のくいを強固にせよ。
 - あなたは右と左にふえ広がり、あなたの子孫は、国々を所有し、荒れ果てた町々を人の住む所とするからだ。
 - 彼はいつも次のように言いました。
 - 「**神から偉大なことを期待しなさい、神のために偉大なことを試みなさい!**」
 - 'Expect great things from God, attempt great things for God!'
- 多くの人々が今は神の時ではないと言っていましたが、彼は今はまさに神が私とあなたを通して偉大な世界宣教の働きを成し遂げる時であることを力説しました。そしてそれを期待して試してみました。彼のビジョンに満ちたメッセージに感動した牧師たちは、すぐに次の日に有名なバプテスマ**宣教会**を作りました。

ウィリアム・キャリー

- ウィリアム・キャリーは、彼の止まらない情熱と挑戦で18世紀の低迷したイギリスを、**宣教師を派遣する祭司の国**にしました。
- しかし彼の業績はインドだけに限られたものではなく、インド国外的にも**ロンドン宣教会**、**スコットランドのグラスゴー宣教会**、**オランダ宣教会**、**教会宣教会**、**英国海外聖書公会**、**米国海外宣教会委員会**、**アメリカバプテスト教宣教会協会**、**アメリカ聖書公会**が創設され、今日の宣教の基礎となる重要な業績となりました。
- 彼は18世紀から19世紀にかけて世界宣教の火を灯した偉大な信仰の勇者でした。彼の信仰によって近代宣教歴史が始まり、19世紀の宣教黄金時代を開いた。何よりも、彼自身がインドのある卯の腐った小麦となり、数多くの実を結ぶようになりました。彼は**穏やかな近代宣教の門を開いた近代宣教の父**でした。



ハドソン・テイラー（Hudson Taylor、1832-1905）

- それを読んでいる間、「キリストはすべての歴史を果たしました」の部分を読むとき、テイラーは一言で「何を成し遂げたのか？」と言った。そして再び自らの唇でこう答えるようになる。「イエス・キリストは完全で完全な贖いを成し遂げ、私たちの罪のためにすでに自分を贖罪の供え物としておられました。私たちの罪のためにだけでなく、世界のすべての人の罪を属するために。それでは、私がすることは何ですか？」彼がこのように自分で質問して答える中で、聖霊は彼の心霊を非追求した大きな感動で彼を捕らえ始めた。ハドソン・テイラーは本を読んでもその場にこぼした。神様が自分をどれだけ惜しみなく愛されているか、言葉で尽くすことができない感動が彼を捕らえ、彼はその場で悔い改めの祈りを捧げ、生まれ変わりの体験をするようになる。

ハドソン・テイラー（Hudson Taylor、1832-1905）

- その中国の魂を考えて日々祈る中、働きのための具体的な準備をすることになる。
- ハドソン・テイラーは中国宣教師と呼ばれる聖霊の声を聞いて基本的な訓練に着手し始めたが、まず正しい精神姿勢と生活態度、そして健康な体のために選んだ空気を飲みながら運動を始めた。睡眠と食べ物を節制する訓練をした。
- 教会生活と伝道生活を充実させ、中国語を学び、医学部に進学して医術を身につけた。キリストの人格に似ていると、スラム街に居住を決め、暮屋訓練を始めた。

ハドソン・テイラー（Hudson Taylor、1832-1905）

- 彼は中国語文法書もなくマンダリン語のルカ福音を持っていくことで中国語の勉強を始めた。とても大変な過程だったが、必ずしなければならないことだったから
- 彼は最善を尽くしたし、結局しばらくして中国語の漢字はみな覚えることになる。そのほかにも正確な聖書翻訳のためにラテン語とヘブライ語ギリシャ語も勉強することになる。

ハドソン・テイラー（Hudson Taylor、1832-1905）

- 人々は彼の福音に対するメッセージではなく、彼の服装と態度にもっと好奇心を持っていました。それで彼は一つの結論に達した。つまり中国人の服を着て風習に従う中国人になろうということだ。昔、イエズス会宣教師たちはこのように多くの成功を収めました。
- しかし、ほとんどのプロテスタント宣教師はこのようなことを、伝統的な方法を離れた破壊的なものとして正しい宣教方法ではないと考えていた。彼らはキリスト教が西洋文化の服を着ないと「間違ったもの」と見なしたのだ。そして青い目に灰色の髪をしたイギリスヨークシャー出身のテイラーに中国人になるというのは簡単なことではなかった。だが中国人の間に混ざって生きるには何よりもルックスから変えなければならなかった。



ハドソン・テイラー（Hudson Taylor、1832-1905）

- また、自分の宣教団体だけでなく、他の宣教団体の活性化のためにも努力するのが彼の働きの原則だった。
- ハドソン・テイラーはあきらめない情熱で中国の土地のすべての場所を隅々見つけては「中国と中国の魂を真に愛する人」だった。
- テイラーは1905年に73歳の時代に中国を訪れたとき、彼がとても愛していた中国人の地で最後の息を吞んで、その地に埋葬された。

ハドソンテイラーの墓石

- 彼の直筆で中国宣教のために一生を捧げたハドソン・テイラーの情熱を代表する文
- 解釈：私が1000ポンドの金貨があれば、すべて中国のために使うでしょう。
- 私が1000人の命があれば、中国のためにそれらの1つも残すことはできません



假如我有千鎊英金，
中國可以全數支取，
假如我有千條性命，
絕不留下一條不給中國。

中国宣教

C。ハドソン・テイラー(1832-1905)

- 彼はGuttslofのアピールで中国にきました。
- 医術訓練を受けた。1853年に中国伝道協会（CMS）に入る
- 宣教師のコミュニティに住んでいました。しかし、彼は中国語を学ぶことができず、中国人に会うことができなかったので落胆しました。
- 兩津川に沿って旅行し、福音を聞いて宣教師に会ったことのない60の村を発見しました。彼は中国の服を着て、中国語を学び、
- 1857年に彼はCESを辞任し、CIM（中国内地宣教会）を設立。
 - マラリア薬が可能になり、効果を発揮する
 - アヘン戦争後、イギリスとの協約により、宣教師は法的に中国への入国を許可されています

C。ハドソン・テイラー(1832-1905)

- 彼は宣教師を動員した。40の新しい宣教機構が形成されました
- 1875年頃、テイラーは641名の宣教師を監督する
- テイラーの働きは宣教師の新世代に新しい思考のインスピレーションを与え、テイラーは地元のディレクターを強調し、これらの新しい宣教師は彼らのアイデアを非常に弾力的に活用しました。

ハドソンテイラー、中国宣教

- 第一に、親の子供のための祈りの重要性として、テイラーの親であるジェームズ・テイラーとアメリカ・ハドソンは、テイラーを妊娠したときから、彼が宣教師の人生を送ることを祈りました。
- 第二に、宣教師への徹底した準備のために、テイラーは医学と中国語を勉強しながら霊的に準備するとともに、生活習慣を劣化した中国宣教地に適応できるように、節制され、大変な生活を通じて宣教師の道を自ら準備した。..

ハドソンテイラー、中国宣教

- 第三に、テイラーは徹底した現地適応化（identification, assimilation, cultural accommodation, adoption, indigeneousness, localization）のために、変換を行い、すべての生活を中国の現地人と同じにするよう努めた。
- 第四に、宣教地での徹底したチームの働きのために、テイラーは1865年に中国内地宣教会（CIM, China Inland Mission）を建て、一緒にチームの働きをし、1964年にその名称がOMF（Oversees Missionary Fellowship）変更され、今日でも中国及び中華圏宣教を活発に担う契機を設けた

ハドソンテイラー、中国宣教

- 第五に、宣教師の徹底した信仰宣教の代表的な例を、テイラーは特にCIMを設立した1865年からよく示した。その一例として、彼が昇天する1905年まで40年間、誰が送った献金であるかもしれない献金の金額である約20万イギリスポンド（今日の貨幣価値で約2,500万ドル）で宣教をよく担うことができた。
- 第六に、テイラーはその当時、海岸地域以外の内地地域の未伝道種族への宣教を強調するとともに、教育宣教を強調し、そのまま実行した。第七に、テイラーは、宣教地で4人の子供と妻を失う痛みと1900年の「衣装団事件」（Boxerの難）によって、58人のCIM所属の宣教師と21人の宣教師の子供たちが殺害された。最後まで諦めず、不屈の献身で宣教使命を余儀なくされたのだ。

中国宣教

III. 今日、中国の宣教

- A. 歴史的背景
 1. 1911：満州王朝を倒したよく知られているSun Yat Sen（クリスチャン）革命
 2. 2種類の民族主義の間の主な紛争：国民党&共産党
 3. 内戦が起こると、共産主義者は民族主義者を台湾に追い出す
 4. 共産党の毛沢東は宣教師を追い出します
 5. 文化大革命（1966-1978）
 - a. 学校のドアが閉鎖され、1億3100万人の若者が紅衛兵になる
 - b. **すべて目立つ教会を根こそぎ焚く**
 - c. **三自愛国運動に従う教会だけを許可する**

中国宣教

三自愛国教会

- (1) この用語はローランドアレンの三自教会で採用されています。
自治体、自立、自贖。
- (2) この用語は中国政府によって歪められています。すべての教会は中国共産党によって制御される三自愛国運動の一員になるようにした。
- (3) 宗教庁は三自教会を統制する。
- d. 1950年のクリスチャンマニフェスト：教会はすべての外国の影響から脱皮するようにした。三自愛国運動に加わらない教会は非愛国的で外国的と呼ばれました。
- e. 1958年、北京に64の教会のうち4つだけが残り、上海は200の教会のうちの1つも残さなかった

中国宣教

6. 1976年、鄧小平は権力の座に入り、再評価の期間を持つようになる
7. 北京の春(1979-1981)：教会はこの期間に繁栄します。
8. 1980年、政府は中国キリスト教公会（CCC）を組織する
 - a. CCCは、省庁のために人を訓練することを許可し、クリスチャン資料の生産を許可し、外国のクリスチャンに連絡することを許可します。
 - b. CCCは、三自愛国運動に属していない教会を拘禁する政策を全く持っていない。
 - c. CCCは共産党によって管理されています。
9. 1982年、政府はキリスト教に「文書19」を発行した。
それは宗教は社会主義的社会では何の場もないと主張する。

中国宣教

- B. 中国の家庭教会運動。
 1. 家庭教会運動、すなわち三自愛国運動に協力すること
拒否する**本当のクリスチャンが船こった**
 - a. 三自愛国運動はキリストを否定することであるとみた
 - b. 他の見解は、福音を保存するために三自愛国運動の中にあったと主張する
 2. 中国に6000万-1億人のクリスチャンがあり、
1940年に宣教師が追い出された当時、100-120万のクリスチャンが存在しました。
 3. 家庭教会の特徴
 - a. 昔ながらな：外部の構造、財政、政治につながらない、昔ながらな教会
 - b. 非器具的：崇拜の場所や時間の制約がなく、**給料を受ける働き人がいません**。
 - c. 家族や家の中で関与したコミュニティ
 - d. 祈りと主を高め、賛美に多くの時間を捧げる
 - e. 成長する運動

中国宣教

4. **なぜ家庭教会は成長するのですか？**
 - a. 共産主義の下で徹底的飢え渴きに福音は彼らを目覚めさせた
 - b. 人々は実際に飢え渴いていた
 - c. 家庭教会は中国に文化的によく合うように開拓されています
 - d. 水平的なコミュニケーションが起こる
5. 家庭教会の問題点
 - a. 私的教義や秘密の信仰は政府への忠誠に対抗する
 - b. 訓練されていないリーダーシップ
 - c. 男性/女性の比率が不均衡-男性はキリストに捧げられ、彼らの職場が失われる恐れがあります。
 - a. 文化的障壁：体面文化、両親を軽く見たくない、国、彼らの両親、会社、他の非クリスチャン組織に同盟。

5番目の拡張（1600-2000）：プロテスタント宣教の偉大な時期 日本への宣教

- I. 日本
 - A. はじめに
 1. 中国での状況との比較
 2. **カトリック省の要約**
 - a. カトリックが日本に初めて入ったとき、神への仏教的概念と一元的な世界観によって大きく影響を受ける文化の中で神という言葉をどんな日本語の単語に翻訳すべきかを葛藤した。
 - b. ジェシュイットは1500-1700ADの間に日本での献身と情熱と委託性格が解明される働きをした。しかし、結実是非常に少なかった。
 3. **日本は決して外面された土地ではなかった。**
しかし世界宣教地で最も反応の低い宣教地であった。
なぜ日本でそんなに実が少ないのか？私たちはその答えを知りません。
一つの可能性は社会的構造への理解なしに日本で大きな教会に成長することを努めてきた。日本の構造と文化により、**教会は小さなグループへの設定がうまく合うように**。

5番目の拡張（1600-2000）：プロテスタントミッションの偉大な時期

B. 1889年法規28

日本の国民は、義務として平和と秩序を維持するために、

国家に対して敵対的でないことの中で宗教信念の自由を楽しむべきである

この項目は司法的決定への基準となりました。しかし、それがどのように

解釈されるべきかは明確ではない。しかし、明らかなこと

それは国家への忠誠が宗教よりも優先位になければならないと言う。

C.今日の日本の宗教状況

1. 国民の80%が神道を遂行するが、それは宗教より愛国が中心であると思われる。
 2. 55%が仏教徒です。
 3. 約2.5%がクリスチャンである（1.13%はプロテスタントであり、その中で0.5%が正統に教会に参加する）
 4. 日本人には万人当たり一つの教会がある。
- D.今日の日本での宣教の働き
1. 宣教師と昔ながらな牧師のビジョンには、信じられないほどの距離と分離があります。
 2. 日本の概念は福音を文化的浸透と見なす
 3. 福音を議論する仏教徒討論グループに参加

5番目の拡張（1600-2000）：プロテスタント宣教の偉大な時期

2.韓国教会の成長

a. 1905-1960年の成長率

(1) 韓国のプロテスタントは人口成長より10倍成長した。

(250%の人口成長に対する教会の成長は2600%)

(2) 教会は北部から中部へ、そして保守的な南部へと拡張されました。

(3)韓国には数万人のメガ教会が多く生じた。

b. 成長の原因

(1) 地元で昔ながらな教会の強調

(2) 折り

(3) 伝道強調

(4) 豊富なミニストリー

(5) 宣教マインド